



JAPAN HEALTHCARE VENTURE SUMMIT 2023

SYMPOSIUM

医療系ベンチャー・
アカデミアのためのシンポジウム
～エコシステムの最前線!あなたの戦略は?～

現地限定:
ネットワーキング
開催

プログラム集

開催日時

2024.2.10(土) 10:00～18:00

開催形式

ハイブリッド開催(現地+オンライン)

会場

東京ミッドタウン八重洲カンファレンス 大会議室

プログラム

2024年2月10日(土)

※開始時刻やプログラム内容等、当日変更となる可能性があります。

10:00-10:05 開会挨拶

- ・ 塩崎 彰久 (厚生労働省 厚生労働大臣政務官)

10:05-11:10 キーノートパネル 医療系ベンチャー、海外進出の地図を描く

モデレーター

- ・ 鍵本 忠尚 (株式会社ヘリオス 代表執行役社長CEO / 株式会社パワーエックス 創業者取締役会長)

パネリスト

- ・ Gail Gannon (Faculty and Director of the Neurotech Collider Lab at University of California, Berkeley / Founder and CEO of Ensanté / formerly Managing Director at WaveEdge Capital)
- ・ Claudia Mitchell (Savantia CEO)

11:15-12:10 アワード受賞者が語る未来地図～海外進出戦略を考える～

モデレーター

- ・ 本荘 修二 (本荘事務所 代表 / 多摩大学 客員教授 / 医療系ベンチャー振興推進会議 座長)
- ・ 曾山 明彦 (一般社団法人 Life science Innovation Network Japan 常務理事CEO / 東北大学 特任教授)
- ・ 奥田 浩美 (株式会社ウィズグループ 代表取締役)

パネリスト

- ・ 大槻 雄士 (株式会社FerroptoCure 代表取締役CEO)
- ・ 三宅 洋 (Chordia Therapeutics株式会社 代表取締役CEO)
- ・ 北川 亮 (株式会社スパインクロニクルジャパン Head of Global Strategy)

13:40-14:45 SaMDベンチャー×大手企業～企業間連携のすすめ～

モデレーター

- ・ 加藤 浩晃 (デジタルハリウッド大学大学院 特任教授/東京医科歯科大学 臨床教授/アイリス株式会社 取締役副社長・最高戦略責任者(CSO)/医師)

パネリスト

- ・ 西川 玄希 (厚生労働省 医薬局 医療機器審査管理課 医療機器審査調整官)
- ・ 上野 太郎 (サスメド株式会社 代表取締役社長)
- ・ 社 謙一 (杏林製薬株式会社 創薬本部 臨床開発センター 開発推進部長)
- ・ 高橋 秀徳 (DeepEyeVision株式会社 代表取締役CEO)
- ・ 上野 太郎 (株式会社Nikon ヘルスケア事業部 マーケティング統括部 マーケティング部 第二商品企画課 課長)

14:50-15:40 治験の分散化～これからの臨床試験～

モデレーター

- ・ 川上 明彦 (株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア事業本部 / MEDISOプロジェクトマネージャー)

パネリスト

- ・ 福田 祐介 (厚生労働省 医薬局 医薬品審査管理課 審査調整官)
- ・ 中村 健一 (国立がん研究センター中央病院 国際開発部門長)
- ・ 金子 信太郎 (IQVIAサイトソリューションズ ジャパン合同会社 事業部長)

15:55-16:40 官公庁事業紹介～AMEDとMEDISOの連携～

モデレータ

- ・ 曾山 明彦 (一般社団法人 Life science Innovation Network Japan 常務理事CEO / 東北大学 特任教授)

パネリスト

- ・ 多田 款 (日本医療研究開発機構 実用化推進部 研究成果展開推進課 調査役)
- ・ 高野 峻輔 (厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 主査)
- ・ 羽藤 晋 (株式会社セルージェン 代表取締役社長)

16:45-17:40 アカデミア発ベンチャーのリアルトーク～私が経験した課題～

モデレータ

- ・ 本荘 修二 (本荘事務所 代表 / 多摩大学 客員教授 / 医療系ベンチャー振興推進会議 座長)
- ・ 奥田 浩美 (株式会社ウィズグループ 代表取締役)

パネリスト

- ・ 高野 六月 (Heartseed株式会社 取締役CFO)
- ・ 荒川 信行 (セレイドセラピューティクス株式会社 共同創業者 / 代表取締役社長 CEO)
- ・ 親泊 政一 (小胞体ストレス研究所株式会社 代表取締役/徳島大学 教授)
- ・ 黒田 嘉宏 (筑波大学 システム情報系 教授)

17:45-17:55 クロージング

- ・ 本荘 修二 (本荘事務所 代表 / 多摩大学 客員教授 / 医療系ベンチャー振興推進会議 座長)
- ・ 曾山 明彦 (一般社団法人 Life science Innovation Network Japan 常務理事CEO / 東北大学 特任教授)
- ・ 奥田 浩美 (株式会社ウィズグループ 代表取締役)

17:55-18:00 閉会挨拶

- ・ 山本 剛 (厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 ベンチャー等支援戦略室 室長)

18:20- ネットワーキング

※現地参加者のみ

登壇者紹介

開会挨拶

10:00-10:05

塩崎 彰久

厚生労働省 厚生労働大臣政務官



愛媛県松山市出身。
1999年 東京大学法学部卒業
2000年 スタンフォード大学大学院国際政策学修士課程修了
2010年 ペンシルバニア大学ウォートン校経営学修士課程修了
2002年 弁護士登録
2006年 内閣官房長官秘書官
2021年 衆議院議員に初当選。現在1期目
2023年9月より 厚生労働大臣政務官
弁護士時代に多くのスタートアップ支援やヘルスケア関連のコンプライアンス案件に従事。
自民党AIの進化と実装に関するPT事務局長などを歴任。

キーノートパネル 医療系ベンチャー、海外進出の地図を描く

10:05-11:10

日本の医療系ベンチャーの海外進出が期待される中、その戦略策定には課題意識があるのではないのでしょうか。このプログラムでは、モデレータに株式会社ヘリオス 鍵本様をお迎えし、海外で活躍してきた有識者からの「今」の声をパネルディスカッション形式でお届けします。海外進出に関心のある皆様は、海外戦略策定のヒントを見つけに御参加ください。

鍵本 忠尚

株式会社ヘリオス 代表執行役社長CEO / 株式会社パワーエックス 創業者取締役会長



九州大学病院にて医師として勤務の後2005年、1社目の大学発バイオベンチャー、アキュメン株式会社を起業。提携先との共同開発を通じて、大学の研究者のみで発明したシーズとしては始めて FDA新薬承認を得て、デファクトスタンダードとなる。2011年2月、再生医療の実用化を目指し株式会社ヘリオスを設立し、2015年6月、東証マザーズ上場。難治性疾患に苦しむ患者さんへ治療と希望を届ける、という初心の実現に向け、再生・細胞医薬品という新たな産業創生に取り組む。

Gail Gannon

Faculty and Director of the Neurotech Collider Lab at University of California, Berkeley /
Founder and CEO of Ensanté / formerly Managing Director at WaveEdge Capital



Since 2006, Gail's goal has been finding better ways to deploy technology and people to redesign healthcare and improve healthspan. Her clients include major health care providers, Fortune 500, to major medical centers (Stanford and University of California, San Francisco), as well as startups. Drawing on her strong therapeutics background, Gail excels at identifying and matching compatible partners for development, distribution, and funding. She sources early-midstage companies for medtech pipelines. Gail enjoys mentoring budding and seasoned entrepreneurs, through university affiliations, industry, government accelerators, NGOs e.g. California Life Sciences Association, UCSF's Lean Launchpad, Stanford's SPARK, WorldBank, USAID, UN Women, and PATH. Serving on the ASTIA and BIO advisory and educational boards adds to Gail's broad knowledge of the regional, national, and international players in the digital health and therapeutic space.

Claudia Mitchell

Savantia CEO



Global experience in top-tier institutions in 4 continents with 25 years of experience in cell and gene therapy. All-around experience in life science industry with positions in Academia, Non-profit, Biotech, Pharmaceutical companies and Venture Capital. More than 2 decades of scientific and executive leadership building biotech start-up companies, defining medical research strategy and leading drug development from basic research to clinical trials. Awarded EY Entrepreneur of the Year in life sciences.

アワード受賞者が語る未来地図～海外進出戦略を考える～

11:15-12:10

2023年10月、JHVS Venture Awards 2023が開催され、多数のエントリー企業の中から、シーズ有用性・事業計画性・成長性が優れていると判断された3社が表彰されました。医療系ベンチャーの各分野をリードする受賞社の、事業内容・強み・今後の展望を紹介するとともに、海外進出を目指す受賞企業が次なる一歩を踏み出すための戦略を、アワード審査員とともに議論いただきます。

本荘 修二

本荘事務所 代表 / 多摩大学 客員教授 / 医療系ベンチャー振興推進会議 座長



新事業を中心に、日米アジアの大企業・ベンチャー・投資家等のアドバイザーを務める。500 Global、Endeavor、始動 Next Innovator 他のメンターとして起業家育成、コミュニティづくりに取り組む。多摩大学MBA客員教授。BCG東京、米Computer Sciences Corporation、CSKセガグループ会長付、投資育成会社GeneralAtlantic日本代表などを経て、現在に至る。ペンシルベニア大学経営学修士、早稲田大学博士 学術：国際経営

曾山 明彦

一般社団法人 Life science Innovation Network Japan 常務理事CEO / 東北大学 特任教授



東京大学理学部物理学科卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。人事院長期在外研究員として米国コロンビア大学ビジネススクールに留学(MBA)。(株)ボストンコンサルティンググループのプロジェクトマネージャー、トランス・コスモス(株)の専務取締役を経て、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)ヴァイスプレジデント、欧米系医療機器企業2社の日本法人社長を経験。2016年4月LINK-J事務局長に就任。東北大学特任教授(2020年～)

奥田 浩美

株式会社ウィズグループ 代表取締役



ムンバイ大学(在学時:インド国立ボンベイ大学)大学院社会福祉課程修了。1991年にIT特化のカンファレンス事業を起業。2001年に株式会社ウィズグループを設立。2013年には過疎地に株式会社たからのやまを創業し、地域の社会課題に対しITで何が出来るかを検証する事業を開始。
委員：経済産業省 Jスタートアップ推薦委員、「医療系ベンチャー振興推進会議」委員等
著書：ワクワクすることだけ、やればいい!!(PHP 出版)ほか

大槻 雄士

株式会社FerroptoCure 代表取締役CEO



2012年3月 北海道大学医学部医学研究科 卒業
2014年4月 KKR札幌医療センター 外科 医員
2020年4月 慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所遺伝子制御研究部門 特任助教
2022年5月 株式会社FerroptoCure設立およびCEO就任
外科医として働く中で、新規がん治療創出の必要性を感じ、研究の道を志し、慶應大先端医科学研究所に所属。その後、慶應大先端研での研究成果(抗がん剤シース)を社会実装するために、株式会社FerroptoCureをアカデミアのメンバーを中心に設立。

三宅 洋

Chordia Therapeutics株式会社 代表取締役CEO



2017年11月に共同創業者とともにChordia Therapeuticsを設立し、代表取締役社長・CEOに就任、現在に至る。Chordia入社以前は、武田薬品工業の癌創薬ユニットの日本サイトヘッドを務めていた。20年以上の創業研究の経験を有し、6つのプログラムで臨床試験の開始に貢献した。大阪大学薬学部卒業、東京大学大学院にて薬学系研究課博士課程修了。薬学博士。

北川 亮

株式会社スパインクロニクルジャパン Head of Global Strategy



株式会社スパインクロニクルジャパン所属。順天堂大学医学部卒業後、金沢大学で博士号を取得。整形外科専門医・脊椎外科指導医。脊椎外科として10年以上の臨床経験を経て、日本発の脊椎インプラントの世界展開へ取り組む。

SaMDベンチャー×大手企業～企業間連携のすすめ～

13:40-14:45

プログラム医療機器 (SaMD) は医療現場での利活用が期待されている一方、新規領域のため、先達の事例は多くはありません。本セッションでは、黎明期にあるSaMD分野で技術の実用化に向けて協働しているSaMDベンチャーと大手企業の取組や連携への期待について、当事者を交えて議論いただきます。

加藤 浩晃

デジタルハリウッド大学大学院 特任教授 / 東京医科歯科大学 臨床教授 / アイリス株式会社 取締役副社長・最高戦略責任者 (CSO) / 医師



医師、MBA (一橋/Finance)、元厚生労働省。眼科専門医として1500件以上の手術執刀。2015年に遠隔医療サービスの事業譲渡の後、厚生労働省に出向し、臨床研究法の制定や医療ベンチャー政策立案などに従事。退職後、オンライン診療や医療AI、治療用アプリの事業創出。年間100件以上の事業相談を受け、通算500件以上。経済産業省Healthcare Innovation Hubアドバイザー、厚生労働省医療ベンチャー支援 (MEDISO) アドバイザーの他、7つの大学で非常勤講師、上場企業2社の社外取締役など。著書『医療4.0』など多数。

西川 玄希

厚生労働省 医薬局 医療機器審査管理課 医療機器審査調整官



平成28年厚生労働省入省後、安全対策課、内閣府食品安全委員会、医政局研究開発振興課、労働基準局化学物質対策課等にて業務に従事。その後、令和4年8月より医療機器審査管理課プログラム医療機器審査管理室に着任し、医療機器のサイバーセキュリティに携わっている。

上野 太郎

サスメド株式会社 代表取締役社長



精神医学・神経科学分野を中心とした科学業績を多数有し、臨床医として専門外来診療も継続。国立がん研究センター等との共同研究を主導。2015年に合同会社としてサスメド創業。不眠症治療用アプリを始めとする「医療用アプリ開発」「医療用アプリ開発のための汎用プラットフォームの提供」「臨床開発支援システムの提供」及び「AI自動分析システムの提供」による事業を展開。

社 謙一

杏林製薬株式会社 創薬本部 臨床開発センター 開発推進部長



京都薬科大学大学院薬学研究科を修了後、1998年杏林製薬に入社。開発部にて抗菌剤や制吐剤などの臨床開発を経験後、2005年浜松医科大学薬理学講座に出向。本研究室で移植後動脈硬化に関する研究に従事し博士号を取得。その後、喘息・COPD治療配合薬、遺伝子治療薬の臨床開発に従事した後、2019年製品戦略部にて新規事業等の企画・立案を担当してDTxプロジェクトに着手。現在、臨床開発推進部にて臨床開発プロジェクトを推進。

高橋 秀徳

DeepEyeVision株式会社 代表取締役CEO



自治医科大学 眼科 准教授、医学博士
東京大学医学部卒業。日本眼科学会 AI、ビッグデータ、遠隔医療 戦略会議 委員
東京大学眼科と自治医科大学眼科で眼底の失明性疾患の研究に従事。
2015年に深層学習が人の画像識別能力を超えたことを知り、深層学習の研究を開始し、2016年にDeepEyeVision合同会社起業。
現在、同社代表取締役CEO。

上野 太郎

株式会社Nikon ヘルスケア事業部 マーケティング統括部 マーケティング部 第二商品企画課 課長



1999年早稲田大学理工学部卒、同大学生命理工学専攻修士課程入学。1分子蛍光イメージング技術を用いた分子シャペロンの機能解析に従事し、2004年博士(理学)取得退学。東京大学薬学部助教を経て、2014年株式会社ニコンに入社。血中microRNAの高感度定量法を搭載したPOCT装置の開発に従事したのち、細胞培養装置の開発・商品企画を担当。2021年ヘルスケア事業部商品企画課長となり、眼科診断支援AIの商品企画に携わる。

治験の分散化～これからの臨床試験～

14:50-15:40

世界ではコロナ禍を契機に分散型臨床試験(DCT)が急激に普及しました。DCTは、治験における患者の負担を減らすことで患者中心の治験を実現させるだけでなく、治験の最適化・効率化を図る手段として注目されています。日本においても規制整備がされつつある中、最新の国内外の取組み状況や、ベンチャーにとってのDCTについて議論いただきます。

川上 明彦

株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア事業本部 / MEDISOプロジェクトマネージャー



京都大学工学部工業化学科卒、東京女子医科大学大学院医学研究科および早稲田大学大学院先端理工学研究科共同先端生命医科学専攻修了、博士(生命医科学)。大学卒業後はノボ ノルディスクにて約10年間勤務し、2018年1月からは三菱総合研究所にて医薬品産業に関する官公庁委託事業に従事。特に医療系ベンチャー支援や医薬品開発に関する業務を中心に担当。2023年6月からは早稲田大学総合研究機構医療レギュラトリーサイエンス研究所招聘研究員としても活動。

福田 祐介

厚生労働省 医薬局 医薬品審査管理課 審査調整官



2007年大学院修了後、CRO勤務を経て、2011年国立病院機構に入職。
2年間薬剤師として従事後、仙台医療センター、東京医療センターにて、計8年間治験事務局・CRC業務に携わる。
2021年4月から厚生労働省。2022年10月より現職。

中村 健一

国立がん研究センター中央病院 国際開発部門長



京都大学医学部を卒業後、7年間外科医としての臨床経験を積み、2006年より国立がん研究センター中央病院でJCOG(日本臨床腫瘍研究グループ)の運営、管理にあたる。2015年より国立がん研究センター中央病院で医師主導治験の支援部門を立ち上げ、日本最大規模の支援機能を有する組織を構築。2020年よりAMEDアジア臨床試験ネットワーク事業(ATLAS project)をプロジェクトリーダーとして率いるとともに、GCP renovationに関する厚生労働特別研究班、DCT実装に関するAMED研究班で研究代表者を務める。

金子 信太郎

IQVIAサイトソリューションズ ジャパン合同会社 事業部長



旧クインタイルズ(現IQVIA)に入社、主にグローバル試験(日本から、日米欧、アジア)とプロジェクトリーダーを担当した。日本国内試験では主に、EBP(Emerging BioPharma)を担当した。現在はIQVIA Site Solutions(IQVIAのリモートでの施設支援会社)に所属し、DCTの実施・普及に努めている。

官公庁事業紹介～AMEDとMEDISOの連携～

15:55-16:40

2015年4月、医療分野の研究開発において基礎から実用化までの一貫した研究開発の推進を目的にAMEDが設立されました。2018年2月、MEDISOは医療系ベンチャー・アカデミアを対象に支援サービスを開始しました。各支援事業を紹介するとともに、成功ベンチャーは、官公庁の各種支援サービス・事業をどのように使って成長したのか、その戦略を紐解きます。

菅山 明彦

一般社団法人 Life science Innovation Network Japan 常務理事CEO / 東北大学 特任教授



東京大学理学部物理学科卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。人事院長期在外研究員として米国コロンビア大学ビジネススクールに留学(MBA)。(株)ボストンコンサルティンググループのプロジェクトマネージャー、トランス・コスモス(株)の専務取締役を経て、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)ヴァイスプレジデント、欧米系医療機器企業2社の日本法人社長を経験。2016年4月LINK-J事務局長に就任。東北大学特任教授(2020年～)

多田 款

日本医療研究開発機構 実用化推進部 研究成果展開推進課 調査役



大学発ベンチャー起業後、製造業・製薬企業のコンサルティング、産業政策立案・実行に10年間従事。プラント解体企業にて新規事業担当として東証マザーズ・一部上場を経験後、京都大学特定研究員・医療VBを経てAMEDに入構。創薬ベンチャーエコシステム強化事業の戦略担当として国内・海外の投資家と日本の創薬VBのマッチングを進めている。早稲田大学政治経済学部卒/早稲田大学ビジネススクール修了(MBA)

高野 峻輔

厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 主査



令和3年厚生労働省入省。医薬品審査管理課にて、新薬審査(循環器、アルツハイマー病等)を担当するとともに、GCP省令を担当。令和5年5月より現職。

羽藤 晋

株式会社セレーション 代表取締役社長



1998年慶應義塾大学医学部卒。2013年慶應義塾大学医学部博士課程卒(外科系眼科学)。眼科専門医。再生医療認定医。眼科医として臨床および研究に携わる。角膜研究分野の実績多数。慶大特任講師も務める。

略歴

1998年 慶應義塾大学医学部卒業
2002年 慶應義塾大学医学部助手(眼科学)
2008年 慶應義塾大学医学部助教(眼科学)
2013年 慶應義塾大学医学部特任講師(眼科学)
2015年 株式会社セレーション 代表取締役
現在に至る

アカデミア発ベンチャーのリアルトーク～私が経験した課題～

16:45-17:40

医療系でのアカデミア発ベンチャーを目指すすべての方にとって、有益となる情報をお届けします。アカデミア発ベンチャーとして起業経験を有する先輩ベンチャー／今後起業を目指すアカデミアの方／起業間もない方と、それぞれに異なる属性の皆様にご登壇を頂き、各視点から実体験に基づき「起業・事業展開における代表的なテーマを対象とした課題&解決策」を紹介いただきます。

本庄 修二

本庄事務所 代表 / 多摩大学 客員教授 / 医療系ベンチャー振興推進会議 座長



新事業を中心に、日米アジアの大企業・ベンチャー・投資家等のアドバイザーを務める。500 Global、Endeavor、始動 Next Innovator 他のメンターとして起業家育成、コミュニティづくりに取り組む。多摩大学MBA客員教授。BCG東京、米Computer Sciences Corporation、CSKセガグループ会長付、投資育成会社GeneralAtlantic日本代表などを経て、現在に至る。ペンシルベニア大学経営学修士、早稲田大学博士 学術：国際経営

奥田 浩美

株式会社ウィズグループ 代表取締役



ムンバイ大学(在学時:インド国立ボンベイ大学)大学院社会福祉課程修了。1991年にIT特化のカンファレンス事業を起業。2001年に株式会社ウィズグループを設立。2013年には過疎地に株式会社たからのやまを創業し、地域の社会課題に対しITで何が出来るかを検証する事業を開始。
委員：経済産業省 Jスタートアップ推薦委員、「医療系ベンチャー振興推進会議」委員等
著書：ワクワクすることだけ、やればいい!!(PHP 出版)ほか

高野 六月

Heartseed株式会社 取締役CFO



2020年8月以降Heartseedに参画し、取締役CFOとして資金調達戦略を管掌。
新卒入社の子三井物産にて、事業の組成から運営・撤退・再構築に幅広く携わった他、同社傘下VCのシリコンバレー本社・東京拠点やファンド運営、創業ベンチャー投資を経験。その後、欧州再生医療ベンチャー等でのCFOを歴任。バイオテック領域での日米欧での経験を活かし、未上場企業のCFOとして、過去5年間で現職含み累計120億円以上のエクイティ調達を実現。早稲田大学政治経済学部卒、CMA。

荒川 信行

セラレイドセラピューティクス株式会社 共同創業者 / 代表取締役社長 CEO



慶應義塾大学理工学部、同大学大学院理工学研究科(工学修士)を経て、アクセンチュア株式会社で製造・小売業界におけるコンサルティングに従事。その後、中小企業の改革、大学発バイオベンチャーの立上げ、AI・IoT・ヘルスケア領域のテクノロジー企業の事業開発・DX推進など、大手企業からベンチャー・中小企業の運営・改革と幅広く経験を積み重ねる。
2020年セラレイドセラピューティクス株式会社を共同創業し、代表取締役CEOに就任。

親泊 政一

小胞体ストレス研究所株式会社 代表取締役 / 徳島大学 教授



内科研修終了後、2001年に熊本大学大学院医学研究科を卒業(医学博士)。2003年から2008年までニューヨーク大学医学部スカボール研究所で研究員を務めた後、2008年に徳島大学疾患ゲノム研究センター生体機能分野の教授に就任。これまでに、糖尿病の発症に小胞体ストレスが関与していることを発見し、小胞体ストレス研究に注力してきた。2017年に徳島大学発のベンチャー企業「小胞体ストレス研究所株式会社」を設立し、小胞体ストレス関連疾患の治療薬開発に取り組んでいる。

黒田 嘉宏

筑波大学 システム情報系 教授



2005年 京都大学大学院情報学研究科博士後期課程修了、博士(情報学)。
同年、同大学医学研究科特任助手
2006年 大阪大学大学院基礎工学研究科助手
2013年 同大学サイバーメディアセンター准教授
2016年 同大学大学院基礎工学研究科准教授
2019年 筑波大学システム情報系教授
現在に至る。インタラクション技術、生体物理シミュレーション、医用システムに関する研究に従事。

クロージング

17:45-17:55

本荘 修二

本荘事務所 代表 / 多摩大学 客員教授 / 医療系ベンチャー振興推進会議 座長



新事業を中心に、日米アジアの大企業・ベンチャー・投資家等のアドバイザーを務める。500 Global、Endeavor、始動 Next Innovator 他のメンターとして起業家育成、コミュニティづくりに取り組む。多摩大学MBA客員教授。BCG東京、米Computer Sciences Corporation、CSKセガグループ会長付、投資育成会社GeneralAtlantic日本代表などを経て、現在に至る。ペンシルベニア大学経営学修士、早稲田大学博士 学術：国際経営

曾山 明彦

一般社団法人 Life science Innovation Network Japan 常務理事CEO / 東北大学 特任教授



東京大学理学部物理学科卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。人事院長期在外研究員として米国コロンビア大学ビジネススクールに留学(MBA)。(株)ボストンコンサルティンググループのプロジェクスマネージャー、トランス・コスモス(株)の専務取締役を経て、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)ヴァイスプレジデント、欧米系医療機器企業2社の日本法人社長を経験。2016年4月LINK-J事務局長に就任。東北大学特任教授(2020年～)

奥田 浩美

株式会社ウィズグループ 代表取締役



ムンバイ大学(在学時:インド国立ボンベイ大学)大学院社会福祉課程修了。1991年にIT特化のカンファレンス事業を起業。2001年に株式会社ウィズグループを設立。2013年には過疎地に株式会社たからのやまを創業し、地域の社会課題に対しITで何が出来るかを検証する事業を開始。
委員：経済産業省 Jスタートアップ推薦委員、「医療系ベンチャー振興推進会議」委員等
著書：ワクワクすることだけ、やればいい!(PHP 出版)ほか

閉会挨拶

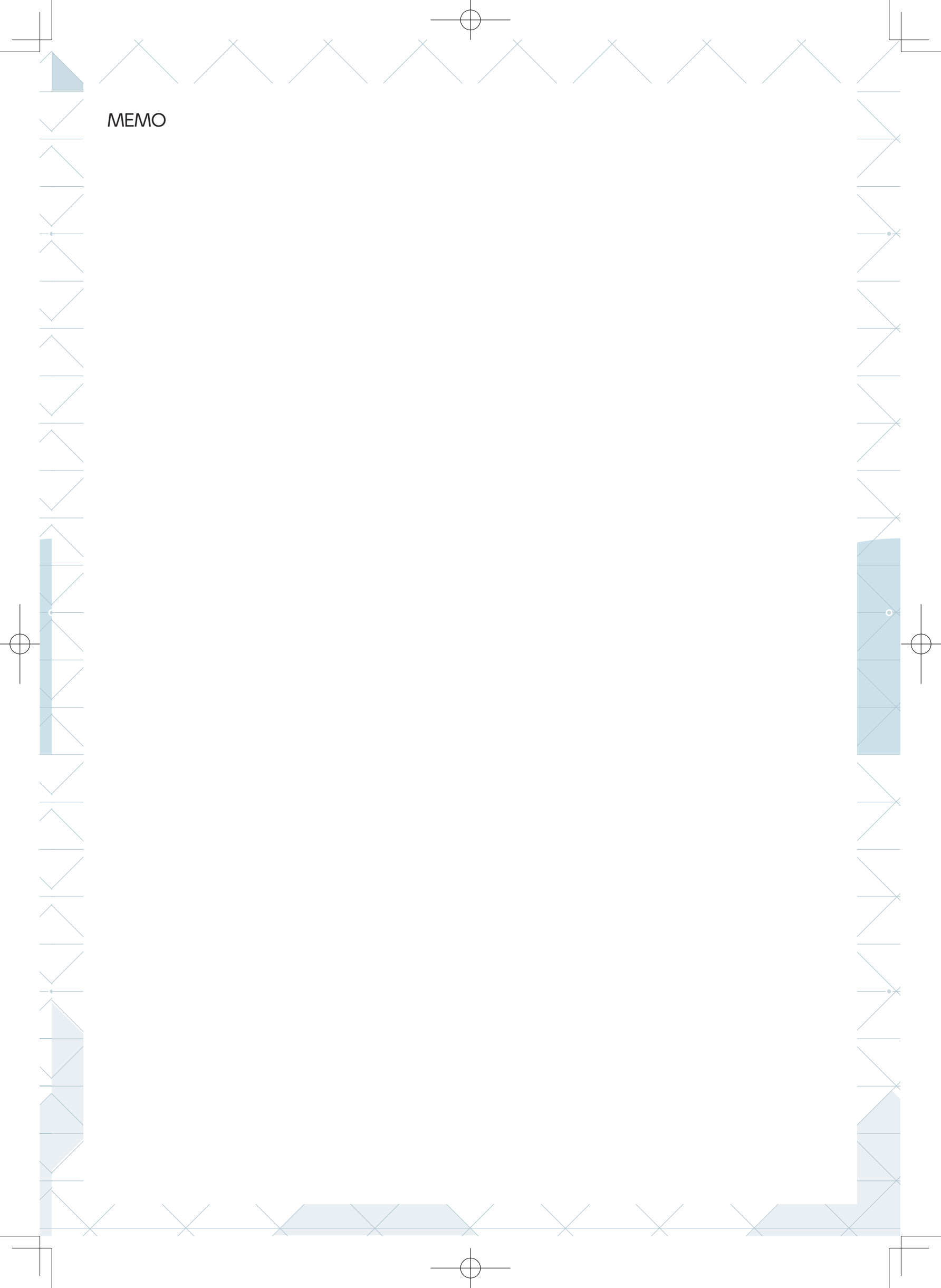
17:55-18:00

山本 剛

厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 ベンチャー等支援戦略室 室長



平成17年厚生労働省入省後、医薬食品局安全対策課課長補佐、同局審査管理課審査調整官、(独)医薬品医療機器総合機構経営企画部広報課長・医療情報活用部調査役、医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課課長補佐等を歴任。令和4年6月より現職。



MEMO

